当院に受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在リハビリテーション技術部・リハビリテーション科では、下記の臨床研究を実施しております。
この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。
ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用や他の研究機関への提供を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名
高齢心臓血管外科手術患者における入院関連機能低下(Hospital Acquired Functional Decline : HAFD)　～術前情報から診た予測精度と予測モデル～

●研究の目的
心臓血管外科手術（冠動脈バイパス術、弁形成・置換術、大動脈血管手術）を行った患者さんを対象に、通常の診療で得られた試料・情報を収集・解析することにより、リハビリテーションの効果および安全性を評価し、より良い治療法を確立することを目的としています。

●対象となる患者さん
2021 年４月１日から 2023 年９月 30 日の間、当院に入院し心臓血管外科手術を行い、リハビリテーションを受けられた患者さん。

●研究予定期間：2023 年 11 月 20 日※から 2024 年 3 月 31 日

※ただし、病院長の許可日以降に開始します

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原康樹

●使用させていただく試料・情報
・年齢、性別、体重、身長、BMI、既往歴、介護度、家庭環境、服薬情報、既往歴・併存疾患
・検査データ（血液データ、心エコー）
・手術情報（術式、手術時間、麻酔時間　等）
・身体機能評価結果（日常生活動作、筋力、バランス　等）
・入院中のリハビリの状況（いつから座る、立つ練習を始めたか 等）
・入院の期間や ICU に滞在した期間
・転帰（自宅退院、回復期転院、施設退院　等

●個人情報の取り扱いと倫理的事項
研究に利用する試料・情報は、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。
この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究機関（情報管理責任者）および問い合わせ先
神戸市立医療センター中央市民病院　リハビリテーション技術部
研究責任者名　岩田健太郎
住所：神戸市中央区港島南町２－１－１
電話：078-302-4321

2023 年 7 月 29 日作成　第 1.0 版